

## 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

### 事業名 図書館環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail：c 21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 926,633 千円 (前年度予算額： 140,510 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	140,510	0	0	0	0	0	0	126,200	14,310
要求額	926,633	0	0	0	0	0	0	833,900	92,733
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県図書館は開館から30年が経過し、施設設備の経年劣化等がみられるため、図書館の安全・安心かつ快適な環境整備を実施する。

### (2) 事業内容

岐阜県図書館の営繕工事を実施し、施設利用者の安全性と利便性の向上を図る。

#### 【図書館劣化調査に基づく営繕】

- ・照明LED化工事、火災報知設備更新工事、蓄電設備更新工事
- ・熱源関連設備改修工事設計、外装及び内装更新工事設計、泡消火設備更新工事設計

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10 県有施設の改修であるため。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	880	工事事務費
役務費	65	工事事務費
工事委託料	32,287	設計委託費
工事請負費	893,401	工事費
合計	926,633	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 県有施設中長期保全計画

(2) 事業主体及びその妥当性

岐阜県図書館は年間約29万人に利用され、県民の課題解決や生涯学習を支える社会教育施設であり、また、定期点検結果等においても改修の必要性について指摘されており、施設管理者として安全・安心な環境づくりを推進するため、改修は必要である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
老朽化が進む施設設備の営繕工事を行い、利用者にとって安全・安心かつ快適な環境を提供する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

図書館の施設設備を維持するための営繕工事であり、指標は設定できない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・外壁タイル改修工事を施工した。
令和5年度	
令和6年度	・熱源改修基本設計業務を委託した。

## 2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>利用者の安全・安心を確保し、快適な環境を整備するための事業であり、必要性が高い。また、照明のLED化は消費電力の削減の効果があり、地球温暖化対策としての必要性も高い。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3: 期待以上の成果あり</p> <p>2: 期待どおりの成果あり</p> <p>1: 期待どおりの成果が得られていない</p> <p>0: ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>施設・設備の更新等を行うことで利用者の安全・安心・快適な環境の提供に寄与した。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>令和3年度の劣化調査による中長期計画の見直しにより、今後の適正かつ効率的な施設設備の更新計画の作成ができています。</p>

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項  
今後ますます老朽化が進むことが予想される。引き続き計画的な改修を実施することで、老朽化によるトラブルを未然に防ぎ、安全・安心な環境を整備していく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	